

## 「よりよい新県立図書館の実現を願う集い」概要

☆ 日時 2025年6月16日(月) 午後6時半から8時まで

☆ 場所 グランシップ1002会議室(静岡市駿河区東静岡 2-3-1 東静岡駅[南口]徒歩 5分)

☆ 内容

・館長あいさつのご紹介

・趣旨説明

・「図書館のよさ」「市町立図書館と県立図書館の違いと特色」「よりよい県立図書館に向けて」

3点のテーマで寄せられたメッセージの代読。その後3つのテーマについて、会場参加者からの発言と話し合い

☆「集い」の趣旨

令和7年4月1日、静岡県立中央図書館は開館100周年を迎えました。長期に亘る地道な歩みの蓄積をさらに発展させたよりよい新県立図書館の実現を切に願い、「新たな静岡県立図書館を望む会」と「静岡図書館友の会」2つの会の共催でこの集いを計画しました。

昨今の報道から、「図書館のよさ」と「市町立図書館と県立図書館の違いと特色」が、一般に知られていないこと、また、新館不要論の声まで聞こえてきたことを憂慮し「原点に戻ってその2点について確認し、話しあい、よりよい新県立図書館の実現につなげたいと願っています。事前にいただいたメッセージは県内各地から短期間に40件弱集まり、関心の高さを感じています。その中から「図書館のよさ」「市町立図書館と県立図書館の違いと特色」「よりよい県立図書館に向けて」の3点にテーマを絞り、メッセージからの一部代読、参加者からの発信と話し合いをします。その結果は今後の活動に活かしていきたいと考えています。実りある集いになりますようよろしくお願いいたします。

☆代読するメッセージ

① 「図書館のよさ」学校図書館を考える会・静岡 朝倉久美子様

図書館がいかにか万人に優しく、知りたいことはどこまでも探求できる、素晴らしい機関であるかは、利用する人には周知の事実ですが、利用しない人には「巨額のお金をかけてもったいない」ということになるのでしょう。しかし図書館の役割はいまや読書、蔵書構築、研究にとどまらず、「認知面」「社会面」「身体面」で健康にいいことは広く世の中に知られています。電子図書館の普及もまた多くの人のアクセスを可能にしています。街のにぎわいの拠点としても大きな役割を担っています。経験した3つの例を紹介します。

NHK「72時間」で石川県立図書館が取り上げられた回の、数々の人の居場所になっている図書館の映像は印象的でした。山梨県立図書館は駅から徒歩3分で、数々の電子機器の充実も驚きましたが、入ってすぐのカフェや、高齢のご婦人たちがポーカーを楽しんでいる部屋、屋外の葡萄棚がまるで北欧の図書館のような、街にとけ込んだ図書館でした。

市立図書館ですが武蔵野市立図書館武蔵野プレイスでは、YA コーナーの活況ぶりとアートな雰囲気  
で、若者の居場所として定着していることがよくわかりました。

お金がなくても、楽しくて役に立つ、知りたいことにはどこまでも付き合ってくれる、街のシンボルとなり  
にぎわいを呼ぶ、こんな素晴らしい税金の使い道は他にはないと思います。(一部抜粋)

## ② 「市町立図書館と県立図書館の違いと特色」 牧之原市 教育委員 元図書館司書 吉住幸子様

市立図書館の現場からしますと、私たちのバックに県立図書館がありますので、目の前のお客様に、  
「どんな本でも用意できます」と言えます。市民の満足度は図書館のサービスの満足度に左右されます。  
これは本だけでなく、質問への回答サービスでも同じです。自分の館にはなくても県立図書館を通して  
県内のすべての図書館から本が借りられます。また、質問回答サービスは、自分の館の資料では答えら  
れない質問がかなりあります。こんな時、私たちは〇〇の資料に当たりましたが、回答できませんでした  
と県立図書館に告げて、回答を依頼します。そして、それを、県立図書館からの回答として、そのまま市  
民に渡します。このような県立図書館のバックヤードがあるので、現場の市町の図書館は毎日安心して  
市民にサービスができています。以上

(そのほか子ども図書研究室の研修や情報発信が市町の図書館や学校図書館の職員の選書などに大  
変役立っているという投稿が多くあったことを申し添えます)

## ③ 「よりよい県立図書館に向けて」静岡文化芸術大学名誉教授上野征洋様

古来より図書館は「知恵の泉」でした。私たちはその泉によって、飢えをしのぎ、渇きを癒して育てられた  
のです。すなわち、図書館は水道や電力と同じ社会に必須のインフラであり、生命を育てる空間です。

幼児が初めて「学び」にふれる児童図書、若者が「不撓の精神」に奮い立つ偉人の伝記、高齢者が「学び  
なおし」で若さを取り戻す専門書。その風景は、世代を超え、多様なニーズに応え公平な機会を提供す  
る「知の交差点」とも言えるでしょう。

また、県立図書館は地域の図書館、学校図書館、私設ライブラリーなど多くの学びの場を結ぶネットワー  
クの核(コア)の役目も果たします。その貴重な役割に空白を生じてはなりません。それは知の空白につ  
ながるからです。

人々の想いを反映し、多様な学びが交差する新図書館は、デジタル化や AI の活用などでさらに大きな  
役割を果たすことでしょう。世代差も地域差も超え、近未来を展望する新しい「学びの場」の誕生です。  
その一日も早い開館を願ってやみません。以上です。

新たな静岡県立図書館を望む会

静岡図書館友の会 共催



(静岡図書館友の会HP)<https://shizutomo.jp>